

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	1-1-1		事業名	保育所待機児童対策事業	
担当	子ども未来局子育て支援部子育て支援課 池上 TEL 211-2985				
全体計画					
事業内容	・保育所の待機児童の解消及び超過入所の改善を図るため、保育所の新築及び増改築等に要する経費の一部を補助する。 ・私立保育所新築費補助事業は、待機児童が恒常的に多い地区等で、国庫交付金を活用し保育所を創設する。 ・私立保育所改築費補助事業は、国庫交付金を活用し、老朽化した保育所の改築を行う際に、保育所の定員増を行うとともに、一時保育室等の整備により保育所の多機能化を図る。 ・認可保育所整備促進事業は、既存の幼稚園や認可外保育施設を認可保育所に移行する場合や、市内で認可保育所を設置運営する者等が新たに保育所を設置する場合に必要な経費を補助し、保育所定員の拡大を図る。 ・20人程度の認可保育所が必要な地域において、保育所本園と一体的に運営する分園設置を進めるため、新たな補助事業を展開していく。		＜年度別の事業内容＞		
			○19年度	270人	
	新築	1件 90人	増改築	2件	60人
	整備促進	2件 120人			
	○20年度	270人			
	新築	1件 90人	増改築	2件	60人
	整備促進	2件 120人			
	○21年度	300人			
	新築	1件 90人	増改築	2件	60人
	整備促進	2件 120人	分園	2件	30人
	○22年度	180人			
	新築	2件 120人	増改築	1件	30人
	分園	2件 30人			
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)		
	【19年度】(+270人) 362,280千円 ◆新設 1か所(+90人) 93,538千円 ○ 清)アルプス 90人 ◆増改築 2か所(+60人) 258,742千円 ○ 豊)中の島 90人⇒120人(+30人) ○ 西)手稲東 120人⇒150人(+30人) ◆整備促進 2か所(+120人) 10,000千円 ○ 北)札幌創成 60人 ○ 厚)厚別もえぎ 60人 ※ 計画事業での定員増(270人)以外に、下記の事由により定員の増あり。 ◆定員変更 1か所(+15人) ○ 白)まこと 60人⇒75人(+15人)		【20年度】(+360人) 399,487千円 ◆新設 1か所(+120人) 111,120千円 ○ 東)さっぽろ夢 120人 ◆増改築 2か所(+60人) 261,239千円 ○ 東)明園 90人⇒120人(+30人) ○ 西)西野 120人⇒150人(+30人) ◆増築 2か所(+60人) 17,128千円 ○ 白)白石うさこ 60人⇒90人(+30人) ○ 白)北郷すずらん 60人⇒90人(+30人) ◆整備促進 2か所(+120人) 10,000千円 ○ 中)大谷オアシス 60人 ○ 北)新琴似中央 60人 ※ 計画事業での定員増(360人)以外に、下記の事由により定員の増減あり。 ◆新築 1か所(+60人) ○ 清)札幌市立認定こども園にじいろ 60人 ◆廃止 1か所(△30人) ○ 北)新琴似乳児 △30人 ◆定員変更 2か所(△20人) ○ 北)拓北ひまわり 90人⇒100人(+10人) ○ 東)元町 90人⇒60人(△30人)		
事業内容	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)		
	【21年度】(+530人) 1,119,053千円 ◆新設 2か所(+210人) 261,504千円 ○ 中)吉田学園ぐりの木 120人 ○ 北)屯田桃の花 90人 ◆増改築 5か所(+150人) 825,166千円 ○ 東)札幌フラワー 110人⇒140人(+30人) ○ 白)北の星白石 90人⇒120人(+30人) ○ 白)柏葉 90人⇒120人(+30人) ○ 厚)青葉興正 120人⇒150人(+30人) ○ 清)札幌北野 90人⇒120人(+30人) ◆整備促進 2か所(+130人) 10,000千円 ○ 東)札幌 70人 ○ 手)つくし 60人 ◆分園 2か所(+40人) 22,383千円 ○ 白)菊水すずらん分園 20人 ○ 西)二十四軒分園 20人 ※ 計画事業での定員増(530人)以外に、下記の事由により定員の増減あり。 ◆廃止 2か所(△60人) ○ 白)東札幌乳児 △30人 ○ 厚)青葉乳児 △30人 ◆新設 1か所(+60人) ○ 北)アートチャイルドケア新琴似 60人 ◆定員変更 6か所(+35人) ○ 中)愛育 75人⇒80人(+5人) ○ 北)新琴似中央 60人⇒70人(+10人) ○ 東)光星はとぼっぼ 75人⇒80人(+5人) ○ 東)丘珠ひばり 75人⇒80人(+5人) ○ 白)東白石雪ん子 45人⇒50人(+5人) ○ 白)まこと 75人⇒80人(+5人)		【22年度】(+840人) 2,390,951千円 ◆新設 4か所(+390人) 550,176千円 ○ 白)友愛北白石 90人 ○ 清)札幌杉の子 90人 ○ 西)発寒わんぱく 120人 ○ 西)発寒おおぞら 90人 ◆増改築 10か所(+300人) 1,628,611千円 ○ 北)しんことに清香(+30人) ○ 北)幌北中央(+30人) ○ 東)丘珠マスカット(+30人) ○ 東)元町みどり(+30人) ○ 白)東白石雪ん子(+30人) ○ 白)白石興正(+30人) ○ 豊)光の子(+30人) ○ 豊)東月寒にれ(+30人) ○ 豊)西岡高台(+30人) ○ 南)澄川ひろのぶ(+30人) ◆整備促進 1か所(+90人) 5,000千円 ○ 東)元町にここ 90人 ◆認定こども園整備 1か所(+60人) 207,164千円 ○ 豊)認定こども園まなび ・まなび幼稚園 ・まなび保育園 60人 ※ 計画事業での定員増(840人)以外に、下記の事由により定員の増減あり。 ◆新築 2か所(+150人) ○ 北)あいの里せせらぎ 60人 ○ 手)札幌北陽 90人 ◆老朽改築 1か所(+30人) ○ 南)真駒内 30人 ◆分園 1か所(+18人) ○ 北)アートチャイルドケア新琴似 18人 ◆認定こども園における保育所整備 1か所(+20人) ○ 厚)いちい保育園 20人		
場					
所					
・					
規					
模					
・					
件					
数					
等					

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	1-1-1			事業名	保育所待機児童対策事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)	
保育所定員数	16,730人 (H19.4.1)	17,015人 (H20.4.1)	17,385人 (H21.4.1)	17,950人 (H22.4.1)	19,008人 (H23.4.1)	17,750人 (H23.4.1)	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 平成21年に子育てに関する実態・意向調査(ニーズ調査)を実施し、その調査結果を基に保育所の潜在需要を含めた保育ニーズを算定して、さっぽろ子ども未来プラン後期計画として平成22年度から平成26年度の5年後で認可保育所定員3,500人増を計画し、整備を実施している。また、当該計画については、平成22年にパブリックコメントを実施している。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] (該当なし) [情報協力] (該当なし) [その他の協力] (該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 保育事業について、札幌市子ども未来局のホームページや広報さっぽろで情報提供を行っており、情報の共有化を図っている。</p>							
評価(成果)				課題			
<p>平成22年4月に策定した「さっぽろ子ども未来プラン後期計画」に基づき、急増する保育ニーズへの対応するため、平成22年度から平成26年度までの5年間で3,500人の定員増を図ることとし、平成22年度は補助対象事業と法人による自主整備を合わせて1,058人の定員増とした。</p> <p>この結果、平成19年度から平成22年度までの4か年で計画当初の1,020人を上回る2,278人の定員増を実施した。</p>				<p>①保育所利用希望者の急激な増加に伴い、保育所整備が急務となっているが、私立保育所新築事業については、適当な事業用地を確保することが困難な状況となっている。また、私立保育所改築事業については、建築後の経過年数等を勘案し計画的に進めていく必要がある。</p> <p>②現在、保育所整備で活用している「安心子ども基金」は、従来の補助制度に比べ市町村の負担割合が低く、財政負担軽減が図られるが、平成23年度までが補助対象となっていることから、平成24年度以降の補助スキームが明確となっていない。このため、当該スキームを踏襲した制度を平成24年度予算以降も継続するよう国に対して要望を行っている。</p> <p>③国は平成22年6月に「子ども・子育て新システム制度案要綱」を発表し、平成25年度からの実施を目指し、幼保一体化として幼稚園と保育園の垣根を取り払い、これら施設を(仮称)「こども園」に一本化することとしているが、詳細については国で検討中であることから、今後の動向を見極めながら保育所整備を進める必要がある。</p>			
今後の事業の予定・方向							
<p>計画当初の2倍を上回る定員増を実施したところであるが、保育需要は増加の一途を辿っており、今後、保育需要の動向を見ながら迅速に保育所整備を実施する必要がある。</p> <p>また、従来の保育所整備事業による創設や増築などの定員増だけでは対応できない状況となっていることから、今後、分園整備や賃貸物件による保育所整備とともに、幼保一体化の動向を見極めていく必要がある。</p>							

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		1-1-1			事業名	保育所待機児童対策事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	367,000	370,560	361,385	276,055	1,375,000				
	財源内訳									
	国・道支出金	238,000	240,374	229,590	180,013	887,977				
	市の債	119,000	88,000	82,000	64,000	353,000				
	その他の他	0	0	0	0	0				
一般財源	10,000	42,186	49,795	32,042	134,023					
予算	事業費	367,000	401,109	1,181,150	2,588,220	4,537,479				
	財源内訳									
	国・道支出金	238,000	260,740	1,033,245	2,248,749	3,780,734				
	市の債	119,000	96,000	87,000	247,000	549,000				
	その他の他	0	0	0	0	0				
一般財源	10,000	44,369	60,905	92,471	207,745					
実績	事業費	362,280	399,487	1,119,053	2,390,951	4,271,771				
	財源内訳									
	国・道支出金	234,854	259,659	985,825	2,095,471	3,575,809				
	市の債	117,000	96,000	89,000	0	302,000				
	その他の他	0	0	0	0	0				
一般財源	10,426	43,828	44,228	295,480	393,962					
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H20実績+H22実績) / (計画事業費)				310.7%				
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》 保育需要の増加に伴い、当初計画以上の保育所整備を実施している。										
[19年度]										
[20年度] 【計画と予算の差】 ・私立保育所の新築の定員増(90→120人)による事業費の増 ・私立保育所の増築(2件)の追加による事業費の増										
[21年度] 【計画と実績の差】 ・安心子ども基金の創設に伴い、補助金算定方法の変更による事業費の増 ・私立保育所の新設(1件 120人)及び増改築(3件 90人)の追加による事業費の増										
[22年度] 【計画と実績の差】 ・安心子ども基金の創設に伴い、補助金算定方法の変更による事業費の増 ・計画の大幅見直し(※市長政策事業群による事業計画の追加補強)による事業費の増										